

令和元年度

YURIKAGO通信 冬休み号

R 1.12.23 東京ゆりかご幼稚園



縦割りでお弁当

自由保育参観（音楽を楽しむ会）

自由保育参観では、日常における音楽遊び、リズム遊びを中心とした取り組みをご覧いただきました。昨年の幼稚園教育要領の改訂に伴い、全国的に幼児教育の在り方が見直される中、日常の「遊びや生活」をより大切にしたい行事に形を変えてきています。

本園でも、一昨年から「音楽会」という「成果発表」の形から日常行われている「表現遊び」の途中経過（プロセス）をご覧頂く「参観形式」に変わりました。そのため、子ども達も、普段と変わらない時間の流れの中で、表情豊かに音楽遊びを楽しむことができます。また、担任の声かけや子ども達との関係性、子ども同士の関係性をご覧頂くことで、お子様の成長、クラスの成長をご理解頂けたのではないかと思います。

年少は、発達段階を踏まえ慣れ親しんだ保育室で担任や保護者の皆様と近い距離の中で行いました。そして、普段から廃材制作を楽しんでいるので、手作り楽器でリズムを楽しむ様子をご覧いただきました。

年中は、クラスごとに子ども達が「演奏したい」と思う曲を選び、合奏・合唱を聞いて頂きました。日常感じる自然の音を取り入れる試みも行いました。普段から私たちの生活は、いろいろな音に囲まれているということを感じさせてくれる表現でした。

年長は、会場へのエスコート、チケット係、会場係などの担当を自分たちで決めて、保護者の皆様をお招きし、子ども達自身が率先して楽器等の準備をしたり舞台準備をする様子もご覧いただきました。年長の主体的に取り組もうとする姿勢、成長の大きさをご理解頂けたことと思います。

また、今回は運動会延期種目の親子競技をアレンジして保護者の皆さまにご参加頂きました。お忙しい中、ご参観を頂き、大変有り難うございました。3学期の「自由保育参観」は、学年ごとに、その時期ならではのクラスの取り組みや、子どもたちの遊びや生活の様子をご覧いただく予定です。また、2月の生活発表会は、劇を中心に1年間の保育の集大成としてホールで行います。子どもたちの更に成長した姿をご覧頂ける事と思います。



2学期終了

本日をもって2学期が終了となります。本年も昨年同様に雨による行事の延期が多く、カリキュラムの変更を余儀なくさせられました。保護者の皆様のご理解とご協力を頂き、無事に終了することができました。

保育においては、改定された新教育要領の中で特に問われている、子ども達の「遊びの質」も更に深まっていることを実感致します。子ども達が、遊びや活動に、先生や友達と主体的に取り組んでいく中で、興味・関心を深め、より「深い学び」へとつなげていくことができます。このプロセスこそが「幼児期特有の学び」と言われるものです。一方で、幼児期に経験してほしい「課題活動（一斉的活動）」も、決して受け身になるのではなく、楽しみながら前向きに取り組んでいく姿勢を育てていくことが大切です。この両面揃っての調和のとれた発達が、小学校以降に特に必要とされる「学びに向かう力」の基礎となります。そして言うまでも無く、こうした子ども達の成長の土台となるのが、「安定した日々の生活」です。

保護者の皆様には、日々の生活面や行事などにおきまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。皆さまからの励ましのお言葉や、「信頼を頂いている」という

安心感が、保育者の一番の支えとなり、明日の保育への活力となります。

今後も教職員一同、この環境を活かした教育の質を高め、子ども達の更なる成長のために努力をしてまいります。明るく年々、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

園長

クリスマス会

みんなが楽しみにしていた「クリスマス会」。ホールでクリスマスのお話を聞いて、みんなが作ったクリスマス製作を披露し合い、いよいよサンタさんの登場！一緒にお歌を歌ったり、プレゼントを頂いたり、一緒に記念撮影をしたり、、、。プレゼントをもらうと、「サンキュー」や「メリークリスマス」と元気の挨拶をしていました。ホールから各クラスに戻ると、みんなのプレゼントが用意されていて、大歓声！給食もクリスマスメニューで、楽しいクリスマス会となりました！



年少 お店屋さんごっこ

ひよこ組さんを招待してのお店屋さんごっこ。廃材制作を楽しんでいた年少さんは、美味しいケーキをたくさん作ってお店を作り、ひよこ組さんに買い物を楽しんで頂きました。



年少 東北復興プロジェクト「子どもの森づくり」ドングリ植え

本園では、東日本大震災の津波で失われた東北の森を再生する活動に参加しています。ドングリを植え木を育てる「子どもの森づくり活動」の一つとして、東北の保育園の園児が拾ったドングリを送っていただき、これを園で育て、ある程度に生長したら、また東北に送り返します。これを東北の園児が植え、森を再生していく...というプロジェクトです。本園では、年少でドングリを植え、年長になったら東北に送っています。森の腐葉土をプランターに入れ、一粒一粒丁寧に植えました。「大きくなあれ！」



年少 勤労感謝プレゼント

勤労感謝の日にちなみ、バスの先生、畑の新野先生、給食の調理員さん、交通誘導のシルバーさんに、日頃の感謝を込めて、年少さんがプレゼントを作りお渡ししました。



プレゼントはティッシュケース。バスの形や野菜、お花の絵などを描き、各先生のお仕事をイメージして作りました。

年少 クッキング ホットドッグ

レタスをちぎってソーセージと一緒にパンにはさみ、ホットドッグを作りました!



年中 味噌造り

恒例となった年中さんの味噌造り。有志のお母様方にもご協力を頂きました。ありがとうございました。給食やクッキング、年長になった時のおにぎりパーティなどでも使用していきます。



年中 勤労感謝訪問 北野清掃工場

清掃工場では、ゴミ収集車の中を見せたり、リサイクルマスコットのクルリとふれ合ったり、ゴミを持ち上げる大きなクレーンを操作したりと、多くの体験をさせて頂きました。最後に感謝の気持ちを込めて、手作りカレンダーをプレゼントしました。



年長 岡崎先生のムササビ教室

「園庭に遊びに来るムササビについてもっと知りたい!」という年長さんの思いに応え、毎年、中央大学附属高校の岡崎先生(ムササビ博士)にお越し頂き、生態について教えて頂いております。ホールではムササビの生態を学び、また研究室にいるムササビのグリちゃんも連れてきて頂き、可愛らしい姿を披露して頂きました。その後、森で食痕や糞を探しました。ムササビに対し愛着もわき、棲んでいる環境を大切にあげようという気持ちも芽生えていくことと思います。今後も、様々な命を尊重し、思いやる気持ちを育むことができるよう見守って参ります。



年長 陶芸制作～野焼き

年長さんが園庭の土を掘って採取し、これを濾したり乾かしたり寝かしたりしながら約半年間かけて上質な粘土にしました。いよいよこの「Yurikago産自家製粘土」を使ってのお皿作り。菱田波先生指導の下、お皿の形にすると、3週間ほど乾かして、森の広場で半日かけて焼き上げました。割れないよう、徐々に火に近づけながら温度を上げていき、個性豊かなお皿が完成! みんなで枝を拾い集めたり投げ入れたりしながら野焼きのお手伝いも行いました。今後も、泥団子や泥制作などを焚き火に入れて焼いたり、泥遊びが更に盛んになっていく事と思います。



約半年かけて、園庭で掘った土から上質な粘土を作りました。土を麺棒で伸ばし、相模川で拾った石にラップを巻いて、園庭で拾った落ち葉をのせて粘土をかぶせ、足をつけて乾燥。葉脈がきれいに表れ、オリジナルのお皿ができました。



薪を運ぶお手伝いも喜んで…。火の周りから、徐々に火に近づけ温度を上げる。網台に乗せ、4時間火に掛け完成! 形や彩り豊かなお皿ができあがりしました。7月には、卒園制作として陶芸粘土で「自分の顔」を作ります。個性豊かな年長さんの顔ができあがることでしょう!

